

ご挨拶

長崎県栄養士会長の篠崎彰子です。

私たちがこれまで経験したことのなかった、新型コロナウイルスの感染は世界中に広がり、感染防止のために生活様式まで変わってしまいました。

長崎県栄養士会におきましても、例年通りの県民公開講座の開催は困難となってしまいましたので、長崎県栄養士会ホームページでYoutubeによる研修会を8日間にわたり開催することといたしました。



自然災害では長崎県内におきましても、7月豪雨、台風9号、台風10号と立て続けて被害も出ていました。浸水や長時間の停電を経験された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。

そこで、今回の県民公開講座は「災害時の対応」についての理解を深めることを目的といたしました。

「災害で生き残るためにできること」の講演は、日本防災士会長崎県支部長の旭芳郎先生にお引き受けいただきました。先生は平成3年の雲仙普賢岳噴火災害より、国内各地の災害現場でボランティア活動を続けておられます。

講演内容は次の3つのパートに分けて配信いたします。

1. 知ってこ！災害時の身の守り方
2. 災害と福祉
3. 災害と食

また、乳児の災害時の備蓄としても活用できる液体ミルクについて情報提供もいたします。

災害は、いつでも・どこでも・誰にでも起きることです。皆様方がこの研修会で学ばれたことを、ご家族様も一緒に様々な日常生活の中で活用して頂きましたら幸甚に存じます。

本日はご視聴いただきありがとうございました。

令和2年10月10日
公益社団法人 長崎県栄養士会 会長 篠崎 彰子